

# 第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年10月8日(木) 5校時  
児童数 男6名 女9名 計15名  
授業者 斉藤 淑子

- 1 単元名 くらべてよもう(光村図書)  
教材名 「じどう車くらべ」

## 2 単元について

### (1) 教材について

この単元は、学習指導要領国語科第1学年及び第2学年の目標(3)の中の「書かれている事柄の順序に気づいて、読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」と、(2)の中の「順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。」に基づいて設定したものである。

「じどう車くらべ」は、この時期の児童の興味・関心の対象として代表的なものの一つ、自動車を取り上げた説明文である。説明のしかたは、「話題・問題提起→問題に対する説明」を、じどう車の「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。第1のまとまりで児童の関心をいろいろな自動車に持たせ、それぞれの自動車がどんな「しごと」をしているか、そのためにどんな「つくり」になっているかを読者に問いかけ、読みのねらいを明確にして、読み進められるようになっている。

また、条件や理由を表す言葉を用いて表現することにより、いっそう「しごと」と「つくり」の関連を明確にさせることができ、関係認識の初歩的な指導に適している。

最終的に、「じどう車ずかん」を作るというねらいをもたせることにより、主体的な理解・表現活動を促すことのできる教材構成になっている。

説明文の系列では、下巻の『ちがいをかんがえてよもう「どうぶつの赤ちゃん」』へとつながる。しかも、本教材で学習した方法、読みのねらいを明確にして読むという学習活動は、文学の系列でも生かすことができる。今後の読みの学習において児童に主体的活動を促すうえでも本教材は大切であると考えられる。

### (2) 児童について

入学して初めて出会った説明文は、「いろいろなくちばし」であった。鳥のくちばしの特徴を記したこの文章で、児童は、説明されている事柄を正確に読み取ることを学ぶとともに、説明文の基本的パターンである「問い→答え」とその文型を学んだ。そして、児童は「とりのくちばしずかん」を学んだ教材文を参考に自分なりに友達の考えや教師の助言をもとに書き上げた。しかし、「くちばしの形」、「問い」、「答え」、「使い方」、「えさ」の五文の意味を分かって書くには至らなかった。それは、それぞれの文が、何について書いてある文かをつかませることが十分ではなかったためと思われる。

### (3) 指導にあたって

初めに「じどう車ずかん」を作ることを最終目的とすることを知らせることで、目的意識と必要感をもってこの文章を読み進めることができるようにさせたい。

「じどう車ずかん」を書くための視点をとらえさせるために、説明の視点をしっかりとらえさせたい。そのために、第1のまとまりの「どんなしごとをしていますか」「どんなつくりになっていますか」の2つの問題提起をとらえさせたい。それを、第2～4のまとまりの読みの視点とすることと、「そのために」という言葉を押さえることで、「しごと」と「つくり」を関連付けて読むための視点としたい。具体的には、「そのために」という言葉が果たしている役割を児童に分かる言葉で言い換える等で、児童に気づかせていきたい。

そして、「しごと」、そのために、「つくり」という文の構成にも気づかせていきたい。

### (4) 生徒指導の機能を生かした授業について

本単元では、生徒指導の三つの機能(自己決定、自己存在感、共感的人間関係)を生かし、学習内容の習得と学習意欲の向上を図りたい。

学習内容を習得する中で、ペア学習において、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりして確認し合うことで発表する機会を多くすることによって己存在感を持たせたい。さらに、自分の言葉でまとめた「じどう車ずかん」を交流させることにより本単元の学習活動が成就できたという思いの自己存在感を持たせたい。そして、単元における最終目的としての「じどう車ずかん」を

「じどう車くらべ」で読み取った「しごと」や「つくり」そして「そのために」という語句や文形に従って自分で書きあげて自己決定をしたい。また、確認し合ったことや交流し合ったことを発表させる中で、友達の考えと比べたり友達の考えのよさに気づかせたりしていくことで共感的人間関係を育みたい。

### 3 単元の目標

- ◎ 自動車の仕事と作りの関係を興味を持って読む。
- ◎ 教材文を参考にして好きな自動車を説明する文章を書く。

### 4 学習指導計画（8時間扱い 本時第3時）

| 次・時                       | 目標   | 学習活動   | 主な評価規準   |
|---------------------------|--|--|--|
| 一次<br>1                   | ・「じどう車ずかん」を作ることを知り、作り方を理解することができる。           | ・知っている自動車の名前を挙げ、どんな自動車があるか話し合う。<br>・問いの文を見つける。<br>・自動車図鑑を作ることを知り、作り方を理解する。<br>・くちばし図鑑と比べ、「しごと」と「つくり」を選んで書くことを知る。   | 【関】知っている自動車について述べ学習に意欲を持とうとする。<br>【読】教材文に説明されている自動車の種類と、自動車の何を比べて書いてあるかを読み取ることができる。  |
| 二次<br>2<br>3<br>(本時)<br>4 | ・三種類の自動車の仕事と作りを理解することができる。                   | ・バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取る。<br>-----<br>・トラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。<br>-----<br>・クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。   | 【読】自動車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。<br>【読】語や文のまとまりを考えながら読むことができる。<br>【書】読み取ったことカードに視写をすることができる。<br>【言】片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。 |
| 三次<br>5<br>6<br>7<br>8    | ・教材文を参考にして、好きな自動車の「しごと」や「つくり」を文章にまとめることができる。 | ・学級文庫や図書館で自動車の本を探して読む。<br>-----<br>・好きな自動車を選び、「しごと」と「つくり」を読み取る。<br>・下書きをする。<br>-----<br>・下書きをカードに清書し、さし絵をそえる。<br>-----<br>・視写したカードと自分で作ったカードを合わせて綴じ、図かんをつくる。 | 【読】乗り物の本などに興味を持ち、探して読むことができる。<br>【書】好きな自動車を選び、組み立てを考えて、「しごと」と「つくり」を説明する文を書くことができる。   |

### 5 本時の学習指導

#### (1) 目標

トラックの「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

#### (2) 仮説にかかわる手立て

- 自己存在感：自分の考えも認められたという思いを持たせるため、一人学びでの自分の考えをペア学習で発表し合うことや、全体の前で発表するなど、発表する機会を多く与える。
- ・共感的人間関係：ともに学んでいるという思いを持たせるため、考えを発表したり話し合ったりする中で、友達の考えのよさに気づかせる。
- ・自己決定：板書や学び合いをもとに自分が分かったことを発表させる中で、課題に対するまとめや学び方について教師や友達と一緒にまとめ表現させる。

(3) 具体的評価規準と支援を要する児童への支援

|  |                              |                                      |
|--|------------------------------|--------------------------------------|
| 十分満足できる                                  | おおむね満足できる                    | 支援を要する児童への手立て                        |
| トラックの「しごと」と「つくり」を読み取り、意欲的に音読したり発言したりできる。 | トラックの「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。 | 一緒に文章を読み、前時までの形式と比べながら考えられるように声をかける。 |

(4) 展開

| 過程          | 学習内容と活動   | 指導上の留意点と評価<br>(◇評価)  | 三機能を生かす手立て   |
|-------------|---|--|--|
| つかむ<br>5分   | <p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     トラックは、どんなしごとをして、そのために、どんなつくりになっているか、みつけよう。                 </div>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習の視点を確認する。</li> <li>今日の学習の観点が、トラックのしごととつくりであることを前時をもとにつかませる。</li> </ul>   |  |
| ふかめる<br>25分 | <p>3 本時の学習の見通しを持つ。</p> <p>(1) 課題から、手がかりの言葉や文を知る。</p> <p>(2) 学習範囲を音読する。</p> <p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1) トラックの「しごと」について読み取る。</p> <p>ア 一人学びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事にサイドラインを引く。</li> </ul> <p>イ 考えを深める。</p> <p>① ペアでサイドラインを引いたところを確認し合う。</p> <p>② 全体で発表し、話し合う。</p> <p>(2) トラックの「つくり」について読み取る。</p> <p>ア 一人学びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくりに波線を引く。</li> </ul> <p>イ 考えを深める。</p> <p>① ペアでサイドラインを引いたところを確認し合う。</p> <p>② 全体で発表し、話し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>音読することで、学習範囲を明確にとらえさせる。</li> <li>指名読みで、読み取る観点を確認する。</li> <li>「しごとをしています。」の文を手がかりにすればよいことを確認する。</li> <li>サイドラインをその文に引いた理由も言わせたい。</li> <li>◇トラックの「しごと」を読み取ることができる。(サイドライン、挙手、発表)</li> <li>「そのために～なっています。」「～なっています。」の文を手がかりにすればよいことを確認する。</li> <li>サイドラインをその文に引いた理由も言わせたい。</li> <li>「そのために」という言葉に注目させ、仕事とつくりに関係があること、仕事に合わせたつくりになっていることを丁寧につかませたい。</li> <li>◇トラックの「つくり」を読み取ることができる。(サイドライン、挙手、発表)</li> </ul> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     自己存在感                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアでサイドラインを引いたところを発表し合う。</li> <li>ペアで考えを比べたことについても発表させさらに、発表の機会を増やす。</li> </ul> </div> <p>共感的人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えを発表し合う中で、友達の考えのよさを認めさせる。</li> </ul> |

|                |  |   |  |
|----------------|--|---|--|
| <p>ひろげる15分</p> | <p>5 本時の学習をまとめる。<br/> (1) 課題のまとめをする。<br/> ・ P 9 5 をカードに視写する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>トラックは、<br/> <b>にもつ</b>を<b>はこぶ</b><br/> しごとをしています。<br/> <b>そのために</b>、<br/> うんてんせきのほかは、<br/> <b>ひろい</b>に<b>だい</b>になっています。<br/> おもいにもつを<br/> のせるトラックには、<br/> <b>タイヤ</b>が<b>たくさん</b><br/> ついています。</p> </div> <p>(2) まとめの音読をする。<br/> (3) 本時の学習を振り返る。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。<br/> ・ クレーン車の「しごと」と「つくり」<br/> であることを知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 穴あき文にして視写させる。</li> <li>・ 3文がそれぞれ仕事についてなのかつくりについてなのか確認しながら読ませたい。</li> </ul> | <p>自己決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 板書や学び合いをもとに、課題に対するまとめや学び方について教師や友達と一緒にまとめ、表現させる。</li> </ul> |
|----------------|--|---|--|

(5) 板書計画

まとめ

トラックは、  
**にもつ**を**はこぶ**  
しごとをしています。  
**そのために**、  
うんてんせきのほかは、  
**ひろい**に**だい**になっています。  
おもいにもつを  
のせるトラックには、  
**タイヤ**が**たくさん**  
ついています。

トラックの絵

**しごと**  
にもつをはこぶ

**つくり**  
そのために、  
ひろいにだい **にもつ**をはこぶために

タイヤがたくさん  
おもいにもつをはこぶために

めあて

トラックはどんなしごとをして、  
そのために、どんなつくりになっているか、みつけよう。

ヒント

- ・ トラックは **しごと** しています。
- ・ **そのために** なっています。
- ・ **ついています。**

